



進路実現を目指し、凡事徹底を！

早いもので中学校卒業まで10ヵ月を切りました。今年度は、自分の将来を方向づける大切な1年となります。自分にとって最適な選択をするために、中学校卒業後の進路はもちろん、これからの生き方、特に職業について真剣に考えていく必要があります。そして、当たり前のことを当たり前に行っていくことが大切です。来春、3学年全員が進路希望を実現できるように、進路通信を通して様々な情報を発信していきたいと思えます。

この1年間、職員全員で生徒一人ひとりを全力でサポートし、応援していきます。生徒のみなさんは、わからないことや困ったことがあったら一人で悩まず、何でも相談してください。保護者の皆様も、何かありましたら遠慮なく中学校にご連絡ください。

進路情報

南校舎の西階段を上った2階に、進路に関する資料を掲示する進路コーナーがあります。これから学校案内やオープンスクールの資料が届く時期になりますので、時々確認してほしいと思います。資料が必要な場合や詳しいことが知りたい場合は、早目にお知らせください。

【奨学金】 交通遺児育英会奨学生予約募集案内

(公益財団法人)交通遺児育英会から「交通遺児育英会奨学生」募集の案内が届きました。この奨学金の応募資格は次の通りです。希望される方、詳しいことが知りたい方は進路担当の影野まで、お問い合わせください。

〔応募資格〕 保護者等が交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けなかったりして、経済的に修学が困難な生徒・学生であること。応募者が生まれる前に保護者が後遺障害となった場合も含まれます。

※第1次予約募集の期限が8月末なので7月下旬の三者相談までにご相談ください。

最終決定は自分自身で…

進路実現のために、大切なことをまとめました。ご家庭でもぜひ話題にあげてください。

- 1 適性
 - 自分の興味、関心、性格などについて考える。
 - 興味をもった高校が希望する将来の職業につながるかを考える。
- 2 情報収集
 - 学校や職業について、本やインターネット（HP）などで情報を集める。
 - 校内の掲示物や進路だよりを目を通す。
 - 高校の学校説明会、体験授業等に積極的に参加する。
- 3 保護者や先生への相談
 - 適性、学力、経済面等について客観的な意見を聞く。
- 4 最終決定は自分自身で…
 - 情報や客観的な意見を参考にしながらも、自分の適性をよく理解した上で、最終的には自分で進路を選択する。

